

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年1月14日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部 国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年12月25日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ネブラスカ大学オマハ校(日本語名) University of Nebraska at Omaha(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年8月～2023年12月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月下旬～5 月下旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約 15000 人
創立年	1908 年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (USD)	日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため授業料免除
宿舍費	3,037	約 440,000 円	University Village
食費	660	約 10,000 円	
図書費	120	約 18,000 円	教科書代
学用品費		円	
携帯・インターネット費	160	約 25,000 円	eSim を日本で購入
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費	0	0 円	
保険費	660	約 100,000 円	形態: 明治大学指定のもの と UNO との合算(明治約 5 万円、UNO 約 400ドル)
渡航旅費	2,200	約 330,000 円	
ビザ申請費	330	約 50,000 円	手数料や SEVIS 代込み
雑費		円	
その他	2,600	約 400,000 円	シカゴ、ニューヨークへの旅行
その他		円	
合計	9,750	1,463,000 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 羽田 目的地: オマハ 経由地: ダラス 復路 出発地: オマハ 目的地: 羽田 経由地: ダラス
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: JAL 料金: 約 33 万円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴ 合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: JAL ホームページ) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: University Village) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
大学の斡旋(大学からメールが届き、それに従って申し込んだ。)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
4 人1部屋ではあるが、鍵付きの個人部屋が 1 人 1 つある。キッチンとリビングは 4 人で、風呂トイレは 2 人ずつでの共有となる。ルームメイトとの交流は各部屋によって多様であり、私の部屋は会ったときに軽く挨拶を交わす程度の仲だったが、ルームメイト 4 人で夕食を作ったり、旅行に行くような部屋もあった。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の友人に危険な場所などについて教えてもらった。オマハは基本的に治安が良いため、盗難等の犯罪に巻き込まれることはなかった。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

日本で事前にeSimを購入したため現地到着後もスムーズにインターネットを使用することができた。寮のWifiは特に問題なく使用できたが、一度だけスマートフォンもパソコンもWifiが繋がらないことがあった。大学に教えてもらったサービスセンターと連絡を取り合い、次の日には直してもらうことができた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

一学期間だけの留学だったため、現地で銀行口座は開設しなかった。クレジットカード二枚(VISA、デビット)を持っていき、殆どの支払いはそれで行った。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

薬、爪切りなど。

値段が日本で購入するよりも高くなってしまふことはあるが、基本的には何でも調達することができる。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 12 単位以上 16 単位以内	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Public Speaking Funds	パブリックスピーキング基礎
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Nate Miller
授業内容	効果的にプレゼンテーションを行う方法や、テクニックについて
試験・課題等	試験はマークシート形式で全三回行われた。
感想を自由記入	授業は基本的にテキストベースで進められ、セクションが終わるごとに一人ずつプレゼンテーションを行った。学生は私を除き全員が現地学生だったため、彼らの前でプレゼンテーションを行うのはとても緊張したが、回数を重ねるごとに自信を持つことができた。一番つらかった授業ではあるが、履修したことに後悔はなく、絶対にためになるので取ることを推奨する。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global Challenges	グローバルチャレンジ
科目設置学部・研究科	International Study
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Lana Obrdovic
授業内容	世界が抱える様々な問題について
試験・課題等	試験はマークシート形式で全三回行われた。
感想を自由記入	貧困や地球温暖化など世界が直面している様々な問題について触れたが、アメリカからの視点で問題を捉えることができ楽しかった。日本にいるときはどうしても日本を軸に考えがちだが、その環境とは全く異なっていたため新鮮だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Black Studies	ブラックスタディ入門
科目設置学部・研究科	Black Study
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Karen Johns
授業内容	アフリカ系アメリカ人奴隷の起源、社会的、経済的、政治的立場などの歴史
試験・課題等	グループでの口頭プレゼンテーションが二回と、試験が二回(レポート形式)行われた。
感想を自由記入	教授を含め、授業を受ける学生の半数以上は黒人の学生であり、彼らの経験や意見を聞きながら歴史を学んでいくという体験は大変貴重なものであった。教授はご高齢で、パワーポイントのスライドなどは表示されず、授業は全て口頭で進められる。留学生である私に配慮してゆっくり喋ってくれたり、重要なポイントは繰り返してくれたりしたが、最初の方はリスニング力が足りず、授業に追いつくのがとても大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Women's and Gender Studies	女性と社会的性別者概論
科目設置学部・研究科	Women's and Gender Study
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Kate Kough
授業内容	女性、男性、性別に対する社会科学的観点の探究
試験・課題等	毎授業後にそのまとめと感想を提出する。クイズや Creative assessments が二週に一度ほど出される。試験はないが、その代わりに Final Project の提出が求められた。
感想を自由記入	日本ではあまり学べない分野だと思い履修をした。クラスではディスカッションが多く行われ、積極的に発言をすることが求められた。日本にいた間、ジェンダーの問題について深く考えたことがなく、基礎知識もほとんどなかったため、意見を伝えるのはとても難しかったが、新しい考えを学ぶ良い機会となった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	国際日本学部入学、TOEFL 対策講義履修
	8月～9月	
	10月～12月	TOEFL 受験、留学出願、面接、合否発表
留学開始年	1月～3月	オリエンテーション
	4月～7月	ビザ取得、航空券購入など様々な手続き
	8月～9月	留学開始(8月)
	10月～12月	帰国(12月)
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私がネブラスカ大学オマハ校を選んだ理由は、ジェンダー学や黒人研究など、日本では学ぶ機会があまりないものを学んでみたいという思いがあったからです。また、都会ではなく比較的田舎の地域に行った方が勉強や自分のやりたいことに集中できたり、より人と関わる機会を持つことができるのではないかと思ったのもこの留学先を選んだ理由です。

過去の先輩方の留学体験記にやたらと「オマハの人々は親切」と書かれていたのが印象的だったのですが、現地に行ってみると本当にその通りで、田舎の広すぎないコミュニティだったからこそ多くの人と関わり、その温かみに触れることができました。留学生の私に対して、わからなかったことある？と声をかけてくれるクラスメイトや、どこへ行くにも車が必要な環境の中で快く車で送ってくれる人や、私にアメリカ文化を体験させるために、祝日にホームパーティーに呼んで伝統料理を振舞ってくれる人など、書き出したらきりがありませんが、本当にたくさんの人の優しさに助けられた四か月間だったと思います。

留学を通して私が感じたことは、行動力がいかに大切かということです。与えられた期間は同じであっても、その期間をどのように過ごすかでその留学の充実度は大きく変わると思います。私は、アメリカに到着してから少しの間、コミュニティに参加することに怖気づいてしまったり、積極性が足りず、人ではなくパソコンや本と向き合う時間の方が多かったです。しかし、時間は有限ということ、そして自分は何のために留学をしに来たのか改めて考え直したときに、このままではだめだと思い、積極的に行動することを意識し始めました。そこからの生活は一気に変わり、より多くの人との交流が増えたり、一生忘れないような思い出を留学先でたくさん作ることができました。これから留学を志す皆さんには、行動力と勇気をもって新しい環境に積極的に飛び込んでいってほしいです。

皆さんの留學生生活の成功を祈っています。